

関西大学経済・政治研究所 第6回公開セミナー 〈関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班〉

聴講自由

【開講の挨拶】

昨今、学生を取り巻くアルバイトの状況は、多かれ少なかれ「ブラック」化してきている。たとえば2015年、東京都の飲食チェーン店において、アルバイト学生が4か月連続勤務、数十万に及ぶ「自爆営業」を強いられたうえに、包丁で刺される被害にあった（この件は現在、民事訴訟に発展している）。この例ほどではないにしても、バイトのシフトを優先せざるをえず授業やテストをあきらめる、夜勤が多く朝から大学に来て寝て過ごさざるをえないなど、「真っ当」な大学生活が成り立たなくなり始めている。その陰には先進国の中でもっとも高額な水準にある学費負担と貧弱な奨学金制度が見え隠れする。

本セミナーでは、関西でのブラックバイトの実態報告、ブラックバイトの全国状況、奨学金問題に関する運動についての講演を中心に、教員・学生・大学職員がともに学び、考え、これからの大学教育ひいては労働社会のあり方を模索する場としたい。

〈関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班 主幹 宇城 輝人〉

日時：2017年10月20日(金) 16:20～18:00

会場：千里山キャンパス
児島惟謙館2階第2会議室

【テーマと報告者】

「若者の格差と貧困ーブラックバイトと奨学金ー」

中京大学国際教養学部 教授

大内 裕和

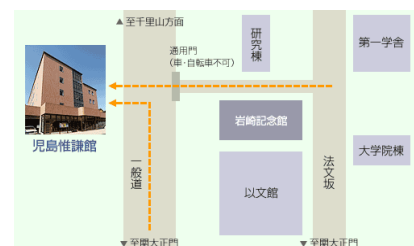
【司会】

関西・大阪の社会経済問題の歴史と現状研究班 主幹
関西大学 社会学部教授

宇城 輝人

- ◆ 対象者 経営者、企業・行政関係者、社会人
- ◆ 聴講自由 参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員70名）

- ◆ 連絡先 〒564-8680 吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学研究所事務グループ
TEL (06) 6368-1179 / FAX (06) 6339-7721
<http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/>



関西大学

主催 関西大学経済・政治研究所